

情報公開文書

適応外使用等の名称	高濃度カリウム注射剤
医薬品名	KCL 注 10mEq キット
対象患者	重度の低カリウム血症を呈しており、添付文書上の用法用量を遵守することが困難な方
承認日	2026年6月10日(医療安全管理委員会) 2026年6月17日(薬事委員会)
実施期間	2026年7月1日から永続的に使用
目的・概要	<p>KCL 注 10mEq キット(カリウム製剤)は、血液中のカリウムが不足した状態(低カリウム血症)を改善するために使用する薬剤です。カリウムは、心臓や筋肉、神経が正常に働くために必要な成分であり、不足すると筋力低下や重い不整脈を引き起こし、生命に関わる可能性があります。通常、この薬剤は国が定めた使用方法(希釈濃度 40mEq/L 以下、投与速度 20mEq/時以下、1 日投与量 100mEq 以下)に従って使用します。</p> <p>しかし、重症の低カリウム血症で早急な補正が必要な場合や、心不全や脳卒中などで水分量を制限しなければならない場合には、通常の方法では十分な治療効果が得られないことがあります。そのため当院では、患者さんの安全を十分に確保したうえで、院内の委員会で承認された基準に基づき、通常より高い濃度でカリウム製剤を使用することがあります。</p> <p>なお、この方法は救命救急・循環器病・脳卒中センター、NICU(新生児集中治療室)および手術室において、厳格な管理のもとで実施されます。</p> <p><使用場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命救急・循環器病・脳卒中センター ・NICU(新生児集中治療室) ・手術室 <p><使用条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投与濃度:500mEq/L 以下 ただし 60mEq/L を超える場合は中心静脈から投与 ・投与速度:20mEq/時以下
予想される不利益と対策	<p>高濃度のカリウム製剤を使用した場合、血液中のカリウム濃度が予想以上に上昇することがあります。カリウムが過剰になると、不整脈や心機能の低下などの重篤な副作用を生じる可能性があります。当院では、安全に治療を行うため、治療中は心電図モニターによる継続的な監視を行うとともに、血液検査により血清カリウム値を頻回に確認します。異常が認められた場合には、速やかに投与量の調整や投与中止などの対応を行います。また、低カリウム血症が改善し、緊急的な補正が不要になった時点で、通常の投与方法へ変更するか、治療を終了します。</p>